



## JENESYS2024 日本・マレーシア海洋交流（若手社会人招へい）の記録

### 1. プログラム概要

【目的・概要】2月18日～2月25日まで、マレーシアの報道機関、大学職員、海洋関係に従事する若手社会人（計16名）が訪日しました。一行は東京都や福井県を訪問し、日本について多岐にわたる学びを得るとともに、各分野の専門家や関係者との交流や視察を通して、日本への関心を高め、二国間における各分野でのネットワーク構築に繋げました。

【参加者】マレーシアの若手海洋関係者4名、報道関係者3名、大学関係者9名 合計16名

【訪問地】東京都16名、神奈川県4名、福井県16名

#### 【日程】

このプログラムは、JENESYS2024 日本・インドネシア若手外交官・若手行政官の海洋交流（招へい）と一部合同で実施しました。

#### ■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

2月12日（水曜日） 【来日前オリエンテーション】

来日までの指定期間 【課題学習（動画配信）】「事前オリエンテーション」「日本理解講義」「日本文化理解（京都）」「日本語」

#### ■ 招へいプログラム：

2月18日（火曜日） 成田国際空港より入国

【来日時オリエンテーション】

- 海洋関係者グループ

【テーマ関連講義】「海上保安庁概要」

講師：海上保安庁総務部国際戦略官 国際戦略官付企画係長 岩下 竜介 氏

- 報道・大学関係者グループ

【視察】東京国立博物館

2月19日（水曜日） 海洋関係者グループ

【テーマ関連視察】水産庁 漁業調査船「開洋丸」

【テーマ関連視察】海上保安資料館横浜館

- 報道・大学関係者グループ

【テーマ関連講義】「共同通信社について」

講師：共同通信社 国際局次長 新井 琢也 氏

【テーマ関連視察・交流】国際基督教大学（ICU）

2月20日（木曜日） 東京都から福井県へ移動

【表敬訪問・講義】福井県庁

「日本をもっとおもしろく！～福井から、日本を変える～」

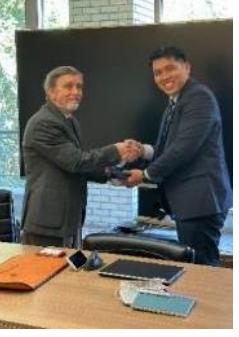
講師：福井県 産業労働部 国際経済課 課長 上藤 正純 氏

	【視察】丸岡城
2月21日（金曜日）	【視察・体験】永平寺（座禅体験）
	【視察・交流】増永眼鏡株式会社（マレーシア人従業員との交流含む）
	【ホストファミリー対面式・ホームステイ】越前市
2月22日（土曜日）	【ホームステイ】
2月23日（日曜日）	【ホームステイ】 【ホストファミリー歓送会】 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS発信状況等確認、 帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
2月24日（月曜日）	福井県から東京都へ移動 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
2月25日（火曜日）	成田国際空港より出国

## 2. 記録写真

### 招へい交流プログラム

	
2025年2月18日【来日時オリエンテーション】	2025年2月18日【講義】「海上保安庁概要」 (海洋関係者グループ)
	
2025年2月18日【視察】 東京国立博物館（報道・大学関係者グループ）	2025年2月19日【テーマ関連視察】水産庁 漁業 調査船「開洋丸」（海洋関係者グループ）

	
<p>2025年2月19日【テーマ関連視察】 海上保安資料館横浜館（海洋関係者グループ）</p>	<p>2025年2月19日【テーマ関連講義】「共同通信社について」（報道・大学関係者グループ）</p>
	 
<p>2025年2月19日【テーマ関連視察・交流】 国際基督教大学（報道・大学関係者グループ）</p>	<p>2025年2月19日【テーマ関連視察・交流】 国際基督教大学（報道・大学関係者グループ）</p>
	
<p>2025年2月20日【表敬訪問・講義】福井県 産業労働部 国際経済課 課長 上藤 正純 氏</p>	<p>2025年2月20日【視察】丸岡城</p>
	
<p>2025年2月21日【視察・体験】 永平寺（座禅体験）</p>	<p>2025年2月21日【視察・交流】増永眼鏡株式会社 (マレーシア人従業員との交流含む)</p>

	
2025年2月22日【ホームステイ】	2025年2月23日【ホストファミリー歓送会】
	
2025年2月24日【報告会】	2025年2月24日【報告会】集合写真

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ マレーシア 社会人

日本の文化は技術の発展をも超えていると思います。(日本の) 技術もすばらしいと思いますが、日本人の仕事に対する几帳面さ、時間を守る姿勢、そして寛容であると同時に可愛らしい一面を持っていることに感銘を受けました。より身近になれるよう、オンライン翻訳を使うのではなく、もっと近づけるよう日本語が話せるようになりたいという気持ちでいっぱいです。

#### ◆ マレーシア 社会人

最も良かった経験は福井県を訪れ、福井の人々と交流したことです。日本の文化や政策、日本人の働き方などについて理解を深めることができました。またメディア関係者として、共同通信社の訪問からも学ぶことが多くありました。ありがとうございました。

#### ◆ マレーシア 社会人

今回のプログラムで最も印象的だったのは、ホストファミリーと過ごした時間です。ホストファミリーの皆さんはとても親切で、常に私たちが快適に過ごせているか配慮してくださいました。その心遣いのおかげで、ホームステイは特別な経験になりました。ホームステイを通じて、地域の文化を多く学ぶことができ、また、丁寧に自分たちの伝統も教えてくださったので、私も家族の一員であるかのように感じました。この温かなつながりのおかげで、私は家族の一員として滞在をより楽しむことができました。ホストファミリーの優しさと励ましに対する感謝の念を忘れることは一生ありません。

#### 4. 受入れ側の感想（抜粋）

##### ◆ 講師

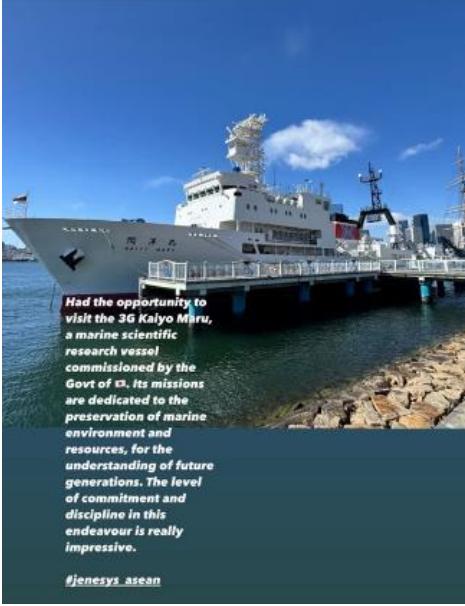
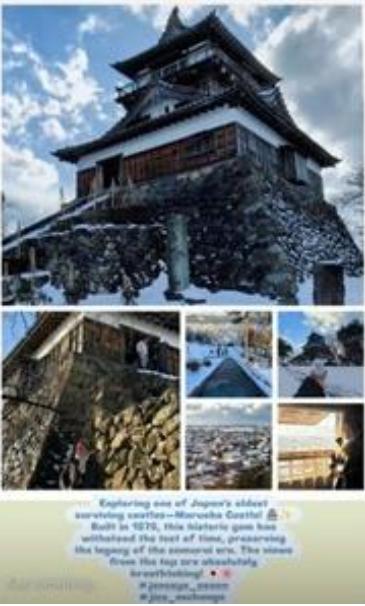
マレーシアの、私たち同様、報道に携わる方にお越しいただき、当方のレクチャーを喜んでいただけで安心いたしました。このような地道な交流事業が世界にフレンズ・オブ・ジャパンを作っていくのだろうと思っております。また機会がありましたら弊社としても協力させていただきます。

##### ◆ ホストファミリー

不安なこともありましたがあつという間の3日間でした。雪の中で、童心に帰って遊んでいる姿や、いろんな体験をされている時の笑顔を見ているとこちらの方も楽しい気分になりました。参加者16人中7人と、今でもFacebookやメッセンジャーでやり取りが続いています。これからも良い関係が続いていければいいなと思っています。

#### 5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

2025年2月19日（Facebook） マレーシア 社会人 <p>共同通信社での2日目は本当に刺激的でした。国際局次長による洞察に満ちた双方向の講義に感謝しかありません。多くを学び、多くの考えることができました。共同通信社は1945年に設立された日本を代表する通信社であり、正確でタイムリーなジャーナリズムの基準を作り続けています。</p>	2025年2月20日（Instagram） マレーシア 社会人 <p>メディア業界の一員として、マレーシア以外の国でどのようにメディアの仕事が行われているかを見るのはいつも楽しいものです。共通することもあれば、まったく異質なこともあります。共同通信社は、私が金正男氏が殺害された事件を取材した際、個人的にやりとりをしたことのある通信社でした。報道界の大手である共同通信社に実際に行くことができたのは、本当に光栄なことでした。持ち帰るものがたくさんあり、このキャリアを続けていく上で少しづつ分かっていくであろう学びも多くありました。</p>

 <p><i>Had the opportunity to visit the 3G Kaiyo Maru, a marine scientific research vessel commissioned by the Govt of [redacted]. Its missions are dedicated to the preservation of marine environment and resources, for the understanding of future generations. The level of commitment and discipline in this endeavour is really impressive.</i></p> <p>#jenesys_asean</p>	 <p><i>Exploring one of Japan's oldest surviving castles, Maruoka Castle [redacted] 1578, this massive fortification has remained unbroken through the test of time, preserving the legacy of the samurai era. The views from the top are absolutely breathtaking!</i></p> <p><i>[redacted] #jenesys_asean #jenesys_exchange</i></p>
<p>2025年2月20日 (Instagram)</p> <p>マレーシア 社会人</p> <p>日本政府（水産庁）に所属する漁業調査船「第三海洋丸」を見学しました。この船の使命は、次世代の人々のために海洋環境と海洋資源の調査・保全に貢献することです。この取り組みに対する献身と規律のレベルの高さには、本当に感心させられるものがあります。</p>	<p>2025年2月20日 (Instagram)</p> <p>マレーシア 社会人</p> <p>現存する日本最古の城の一つ、丸岡城。1576年に建てられたこの歴史的な建造物は、時の試練に耐え、武士の時代の遺産として残っています。天守閣からの眺めは息をのむほどの美しさでした。</p>
 <p><b>マレーシア 若手社会人16人が訪日、JENESYSで</b></p> <p>マレーシアの海洋や大学、報道に従事する若手社会人16人が、今月18～25日に日本を訪問する。日本の外務省が推進する国際交流事業「対日理解促進交流プログラム（JENESYS）」の一環で、日本国際協力センター（JICE）が事業を実施する。</p> <p>マレーシアの海洋関係者4人、報道関係者3人、大学関係者9人が訪日する。東京都、神奈川県、福井県を訪問し、各分野のテーマ開拓講義や視察、関係者との交流、ホームステイを体験する。</p> <p>JENESYSは、日本とアジア大洋州の各国・地域との間の人的交流事業となっている。諸外国青年の日本への関心・理解・支持の拡大、参加者による日本についての対外発信の強化、日本の外交基盤の拡充を目的としている。</p>	 <p><b>【マレーシア】若手社会人16人が訪日、JENESYSで</b></p> <p>マレーシアの海洋や大学、報道に従事する若手社会人16人が、今月18～25日に日本を訪問する。日本の外務省が推進する国際交流事業「対日理解促進交流プログラム（JENESYS）」の一環で、日本国際協力センター（JICE）が事業を実施する。</p> <p>マレーシアの海洋関係者4人、報道関係者3人、大学関係者9人が訪日する。東京都、神奈川県、福井県を訪問し、各分野のテーマ開拓講義や視察、関係者との交流、ホームステイを体験する。</p> <p>JENESYSは、日本とアジア大洋州の各国・地域との間の人的交流事業となっている。諸外国青年の日本への関心・理解・支持の拡大、参加者による日本についての対外発信の強化、日本の外交基盤の拡充を目的としている。</p>
<p>2025年2月6日 (NNA ASIA アジア経済ニュース)</p> <p>「若手社会人 16 人が訪日、JENESYS で」</p>	<p>2025年2月6日 (YAHOO! JAPAN ニュース、左記 NNA の記事が紹介されたもの)</p> <p>「マレーシア若手社会人 16 人が訪日、JENESYS で」</p>

## 6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、神奈川県、福井県 全2グループ発表

### 海洋関係者グループ







#### 【成果の発表】

##### ◆ 訪日全般の学び：

日本は高度な技術を持ち、人は時間に正確で規律正しく、すばらしいアニメや漫画があるという印象を持っていました。また、第二次世界大戦中の歴史や、日本に優れた廃棄物処理施設があることも知っていました。来日後、日本の文化や宗教（神道、仏教）、日本人がとても謙虚で信頼できること、そして良い経済状況のおかげでとても安全な環境であることなどを直接学びました。

##### ◆ 「海洋関係」についての学び：

日本には独創的なビジネスのやり方があり、地方自治体は日本人だけでなく国際的なコミュニティとも密接に連携しています。また、日本には軍隊がなく、自衛隊があることも知りました。海上保安庁の人員と財源は（マレーシアに比べ）格段に多く、水産庁の海洋科学研究は非常に進んでいます。

#### 【アクション・プラン】

- 職場の同僚のための日本語教室を開催します。
- 部署などのスタッフを集め、日本人の仕事に対する倫理観（時間厳守、几帳面、責任感、対応力、創造性、集団性等）を説明し、職場での実践を提案します。
- 家族に対し、お互いを大切にすることの重要性（兄姉が弟妹の面倒を見るなど）を共有します。

### 報道・大学関係者グループ







#### 【成果の発表】

##### ◆ 訪日全般の学び：

日本とマレーシアには多くの共通点・相違点があります。

天候： 日本には四季があるのに対し、マレーシアには雨季と暑季があります。

建築様式：マレーシア（の家）は余白のある空間が多いですが、日本は部屋を区切り、すべての空間をコンパクトに使っています。

文化： マレーシアの人々は時間に柔軟で、フォーマルな場でもカジュアルですが、日本では時間に正確で、特に目上の人には敬意を払い、カジュアルな日本語ではなく敬語を使用します。

**料理**：マレーシアでは香辛料を多用し、濃い味付けが一般的ですが、日本ではヘルシーで鮮明な味付けの料理を食べています。

**【アクション・プラン】**

◆ 報道関係者

- ・日本及びプログラムに関する情報をマレーシアの一般の人に広めるための報道を行います。
- ・日常的な報道業務において、日本のジャーナリズム倫理と基準を採用します。

福井県のようなあまり知られていない都道府県の知名度を上げ、有名な観光地から観光客を誘致し、観光密度の多様化に貢献できればと思っています。

◆ 大学関係者

- ・学部内外での知識共有をする場を設けます。
- ・レポートや記事を執筆します。
- ・（日本との）結びつきを強化・強化するための定期的な投稿を行います。
- ・マレーシアの職場に、日本の労働文化を導入します。

私たちが得た知識を周囲に伝えることで、日本を観光地としてだけでなく、就職先としてもアピールしたいと考えています。また、日本の文化や倫理観を紹介することで、卒業生が社会人としての心構えを持てるようになることを願っています。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）